

やったね！大野先輩。 世界選手権東京大会金メダル

昨日夜、メールでお知らせしたように、本校卒業生の大野将平君が、柔道世界選手権73キログ級で、金メダルを獲得しました。



大野君は、本校を15年前の平成12年に卒業し、中学校からは東京の講道学舎へ進みました。実家は上東にあり、お母さんが住んでおられます。

大野君は、前回のリオオリンピックで金メダルを獲得した日本の英雄であり、3年前も吉敷地域は大いに盛り上がりました。

良城小時代の様子も含め、大野君の子どもの頃の様子は、2月にお母さんに本校で先生方向けにお話をさせていただいています。

また、2学期に6年生児童を対象にお話をしてもらう予定です。

皆さんも知っておられると思いますが、大野君は、単に強いだけではなく、最も日本武道の精神を受け継ぐ選手としても知られています。畳に上がる前の深々と一礼する姿、畳の上では勝っても負けても表情を一切崩さない姿は、気迫に満ちているというより、神々しいとさえ感じます。

ただし、畳から降りると、右上の写真のように、それまでとは全く異なるかわいらしい笑顔にもなります。お母さんも、家では今でも子どもの頃と同じようなわがままな子どもですとおっしゃっていました。

この優勝で、来年の東京オリンピック代表がほぼ決まり、これから一段と忙しくなるとは思いますが、是非とも、今年度中に、本校に来てもらえたらとお母さんにはお願いはしています。



ところで、そんな大野君を応援しようと、今月初め、吉敷地区で大野将平後援会が発足しました。地元県議の合志さんが会長で、私も副会長の一人となっています。

3学期にもお話ししたように、柔道界は大変財政的に厳しく、大野君は強化のための遠征も自費で行くような状況です。今回の優勝で多少は強化費が出るとは思いますが、他の競技界とは状況が違うようです。

そのため、3月時点で、細々と関係者を中心に後援会が発足し、本校の先生方の多くに参加していただき、お母さんも感激しておられました。

この度、さらに地域を挙げての後援会の発足ということで、本校職員とPTAにも加入の呼びかけがきました。(裏面)

私の住む平川地区にも、前回リオオリンピックの際は、石川佳純後援会が発足し、私も地元の一人として熱く応援しました。

来年の東京オリンピックでの連続金メダルの獲得に向け、私たち良城小職員も地域の一人として応援しようではありませんか。

入会者名簿を回しますので、良城だからこその先生方の熱い応援をどうぞよろしくお願いします。